

副田和哉先生による「建築に関する講義」を受けました。全周パノラマ画像に用いた視覚情報の定量分析方法と関し、何が何なのを全くの初見で受けたが、先生の具体例を用いた説明により、その内容がよく理解できました。敬語だけでなく、あるタイミングでは普通に話すなど「話し」の仕方なく「話しかける」ようにする事で、大事な部分やポイントがわかりやすく伝わってきました。具体例を挙げていく上で、「何に問題意識を持つか」という事の大切さを話されていました。情報の8割は「視覚」に由来している事から、「自己見えない世界の可視化」の重要性が伺えました。問題意識を持った事を積極的に、自主的に調べる精神が必要だと思いました。また、調べた事について、その背景にある5つの中、調べた事の概要を計し説明する事も大切だと学びました。発表の際にそのタイミングに合った写真やグラフを使う事が相手に研究内容を伝達する方法の一つだと学びました。また、研究した事やそれに関する事について、現在や過去だけ話すのではなく、今後どうしていきたいか、どのような点の改善などの「未来」の事も話しておきたいなと思いました。分かりやすい事、自分では出来ない事について、他の人と協力する事も、自覚達成のコツだと知りました。とても内容の濃い講義でした。

